

施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



1 施策の基本情報(Plan)

施策名	13 市民スポーツの振興
目的	対象 意図
施策の方向	

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（Check・Action）
令和6年度は調布市スポーツ推進計画の初年度となることから、計画に掲げる将来像に向け、体系化した施策を着実に推進した。 スポーツ施設の老朽化対応、安全確保を踏まえた改修などの施設整備のほか、味の素スタジアムや京王アリーナTOKYOなどで開催される様々なスポーツ大会などの観戦機会の提供、次世代アスリートへの支援等、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の観点から、スポーツ環境の整備に向け取り組んだ。 また、調布市スポーツ協会事業の引き続きの支援によるスポーツ振興の推進、東京2020大会を契機としたパラスポーツの普及・啓発、障害当事者の運動機会の創出・定着に向けた支援や障害理解の促進への取組などを推進した。 F C東京をはじめとするトップスポーツチームとの連携においては、各主体とのパートナーシップを生かし、スポーツのみならず、様々な分野で連携したまちづくりへとつなげることができた。 今後もスポーツ施策を着実に推進するとともに、令和7年11月に開催されるデフリンピックを契機とした取組を通して障害理解の促進を図り、共生社会の充実につなげていく。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
体育施設の年間利用者数	人	80万1,908 令和3年度	83万8,153	89万6,235	106万 令和8年度	○	・令和4年12月から休館していた総合体育館の屋内プールを令和6年5月から再開したことに伴い、利用者数が増加した。
運動を週に1回以上行っている市民の割合	%	69.0 令和4年度	72.9	71.4	73.0 令和8年度	▼	・令和5年度と比較し、令和6年度は微減したが、国や東京都の目標値である70%は上回る状況にある。引き続き、ライフステージに応じたスポーツ活動の支援を行う。
F C東京等スポーツチームとの連携事業数	件	39 令和3年度	60	129	180 令和6～令和8年度の4年間累計	○	・F C東京と連携し、新たに休日における合同部活動を実施し、競技力向上の講習会を開催した。組織横断的連携の下、各種スポーツチームとの連携事業が増加しているため、更なる連携を促していく。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） —：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■13-1 スポーツ環境の整備

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
48	スポーツ施設の整備	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・市民が安全で快適にスポーツ施設を利用できるよう、各施設の整備・維持管理を実施した。 ・修繕件数：27件 多摩川児童公園内運動施設グラウンド 修繕 他 ・工事関係：総合体育館管理棟屋上防水ほか改修工事、基地跡地運動広場A5・D1グラウンド整備工事、基地跡地運動広場E6グラウンド防球ネット設置工事 他	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・今後も快適で安全な魅力あるスポーツ施設とするため、利用者ニーズに沿った利用環境の向上に努め、施設の保全・改修等を行う。 ・施設の老朽化対応、安全確保を踏まえた今後の改修について、市民要望も踏まえて検討・調整に取り組む。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①熱中症対策として多摩川テニスコートのクラブハウスにエアコンを設置し、利用環境の向上を図った。 ②総合体育館の地下ホール等に点字シートを設置することにより、施設のバリアフリー化を促進し、利用者の安全確保に寄与した。 ③「国際・全国スポーツ大会出場報奨金」について、様々な競技における大会等の出場者に対して56件の報奨金を交付し、次世代アスリートを支援した。	①散水設備等の整備による熱中症対策や、グラウンド不陸整生、屋外施設等の夜間照明の整備などにより、利用環境の向上を図る。 ②スポーツ施設の適切な維持保全により、利用者の安全・安心の確保を図る。 ③「国際・全国スポーツ大会出場報奨金」の活用促進はもとより、応援アスリート制度の普及・啓発を行うことで、次世代アスリートの更なる支援を図る。

■13-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
49	調布市スポーツ協会事業の支援	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・市民スポーツ大会、市民スポーツまつり等の主要事業が開催し、スポーツ活動の普及促進を図った。 ・リフレッシュ体操スクールを10会場28クラス実施し、運動習慣のきっかけづくりに寄与した。 ・新規事業まちなかスポーツパークを福祉事業と連携して実施し、気軽にスポーツを体験できる機会を創出した。	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・市民スポーツ大会、市民スポーツまつり等の主要事業を継続的に実施し、更なる充実を図る。 ・リフレッシュ体操スクール、まちなかスポーツパークを継続的に実施し、より充実したスポーツ機会の創出を図る。 ・市主催事業でのスポーツボランティアの積極的な活用を行うことで、更なるスポーツの担い手育成を図る。
No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
50	【重点④】 東京2020大会等のレガシーの継承・発展	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・スポーツ協会、指導室と連携し、ジュニア陸上体験教室を実施し、スポーツへの興味関心に寄与した。 ・調布市障害者スポーツの振興における協議体の活用による運動機会の確保や、環境づくりに努めた。 ・日本ブラインドサッカー協会等各団体との連携による教育プログラムを実施し、インクルーシブスポーツの普及を図った。	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・スポーツ協会、指導室と連携し、ジュニア陸上体験教室を継続的に実施し、子どもたちの体力向上、スポーツへの関心をより高める。 ・調布市障害者スポーツの振興における協議体を活用し、障害当事者の運動機会の確保や誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりに努める。 ・日本ブラインドサッカー協会、日本財団パラスポーツサポートセンターとの連携による教育プログラムを実施し、パラスポーツの普及・啓発と障害理解の促進を図る。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①調布市応援アスリートとして、新たに8人を認定。市民が一体となって応援し、交流を図ることで市民スポーツの振興を図った。 ②パラスポーツ体験会や車いすバスケットボールCHOFUEKISHIBISHONMATCH in むさぶらを実施した。 ③東京2025デフリンピック開催1年前企画として、デフスポーツ講演会を実施し、機運醸成と障害理解促進に寄与した。	①調布市応援アスリートの追加認定、既認定者の更なる情報発信やイベントでの連携等を検討する。 ②パラスポーツ体験会等様々な主体と連携した事業を継続的に実施し、共生社会の実現に寄与する。 ③東京2025デフリンピック開催に向け、市立小・中学校での特別授業の実施や市民向け講演会を実施し、機運醸成と障害理解促進を図る。

■13-3 FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
51	FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・18歳以上の運動不足を感じている方などを対象に、FC東京と連携して、誰でも参加しやすい運動を行う朝活事業を実施し、運動のきっかけづくりを行った。 ・各チームとの連携により、観戦機会を提供することで、スポーツ振興を図った。 ・各チームに関する情報発信を積極的に実施することで、スポーツに触れる機会を創出した。	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・競技体験等について、既存事業を継続的に実施しながら、スポーツに触れるきっかけづくりを推進する。 ・各チームと連携し、引き続き、観戦機会の提供を行い、スポーツ振興を図るとともに、チームへの愛着を醸成することで、スポーツを核としたまちづくりを推進する。 ・各チームに関する情報発信を積極的に行うことで、スポーツに触れる機会を更に創出していく。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①FC東京「調布の日」「青赤ストリート」では、地域、関係団体・チーム及び行政の官民連携の下、地域振興等のまちづくりを協働で推進した。 ②FC東京の新エンブレムを使用したステッカーや缶バッジ等を配布し、応援機運醸成を図った。 ③東芝ブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスについて、三鷹市、府中市との3市連携事業を実施した。 ④読売巨人軍との連携による広報媒体の活用を通じて、調布のまちの魅力発信に努めた。	①FC東京との連携事業を継続的に実施することで、地域振興等とスポーツ振興を図る。 ②FC東京はもとより、NTT東日本バドミントン部等トップスポーツチームの応援機運醸成に係る取組を実施することで、スポーツ振興を図る。 ③ラグビー2チーム及び三鷹市・府中市・調布市の3市による連携事業を継続実施する。 ④読売巨人軍広報大使を活用した、スポーツ振興及び地域振興に向けた取組を実施する。

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和6年度の実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・イベント情報や地域スポーツ団体の活動、トップスポーツチームに関する情報について、東京都調布市スポーツインフォメーション【公式】Xにて情報発信を行った。【令和6年度・7年度】 ・スポーツ施設の利便性向上に向けた施設利用予約システム更新を見据え、GovTech東京による共同調達や市の独自調達についての検討を進める。また、施設利用予約システムの更新にあたっては、利便性向上に向けたオンライン登録の導入、各種キャッシュレス決済の実装などに向けて検討を進める。【令和7年度以降】	・FC東京をはじめとしたトップスポーツチームなどの様々な主体と連携し、市民がスポーツを「する」「みる」機会を充実させ、スポーツに親しめるよう、市民スポーツの振興に取り組んだ。【令和6年度・7年度】 ・民間企業やボランティア団体等との連携により、各種スポーツ大会等において、「ささえる」機会を創出し、機運醸成を高めることによるスポーツ振興を図った。【令和6年度・7年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・市民野球場の夜間照明について、LED照明に切り替えたことにより、十分な照度を保ちながら日々の使用電力量を削減するなど、環境負荷の低減に寄与した。【令和6年度】 ・多摩川テニスコート、緑ヶ丘テニスコート、西町サッカー場の夜間照明について、LED照明に切り替えることにより、十分な照度を保ちながら日々の使用電力量を削減するなど、環境負荷の低減に寄与する。【令和7年度】	・市で導入したトイレカーについて、普段は基地跡地運動広場に配置し、スポーツ施設利用者がトイレとして利用できるよう整備する。【令和7年度】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

・調布市スポーツ協会やFC東京をはじめとしたトップスポーツチームなど様々な主体と連携し、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図り、年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もがスポーツに親しむことができる取組を推進する。 ・スポーツ施設の計画的な維持保全・改修を行うとともに、誰もがスポーツに取り組むためのスポーツ環境の充実を図る。 ・トップスポーツチームや武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク等のスポーツ資源を生かした、まちのにぎわい創出や市民交流を促進する。 ・「調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画」に基づき、市立中学校において、令和9年度以降、可能な限り早期に、全ての休日部活動において地域連携又は地域移行を実施し、生徒が地域人材等による技術指導を受けられていることを目指す。
